

【ねりまシニアセミナー委員会報告】

12月2日に4回目の委員会が開催され、5月16日(日)開催予定のセミナーに向けて、チリシヤキリストについて検討を行いました。講師は土田京子氏で、「歳を重ねるのは自由になること」の基調講演を頂く予定です。

今回はコロナの影響が残ることも考慮し、グループトークに工夫をこらしています。何と言っても、ねりまシニアセミナーはNSNの活動の根源です。会員の皆様も関心を持って頂き、3月にはチラシが出来ますので、PRして頂きたいと思えます。

【各々の活動報告】

コロナ禍で、各々の活動もまた十分に行われていないかもしれません。他の会はどのような状況なのか、活動を行っている会に状況を報告して頂きました。

【睦会】

昨年度はコロナに始まりコロナで終りなので、例会は三密を配慮しながら、毎月開催しました。例会はフリートークで個々

の話を聴け、楽しめました。昨年の締めくくりの忘年会も、皆のみなさま参加で「木曾路」で和気あいあいと楽しい一時を過ごしました。三密対策を考え、うつつさない・うつつらない、で新しい年を過ごしたいと思えます。

(横山 具生)

【つうみ会】

例会は毎月第1金曜日の午後2時から、石神井公園区民交流センター2階の消費者団体活動室で行っています。

11月例会は、女性4名、男性3名、合わせて7名の参加でした。コロナ禍で直接会う機会が少なくなるので、ラインでグループトークできるようにしようということ

で、6人のグループを登録しました。

12月例会はラインで次々に欠席の連絡が入り、女性2名、男性1名、合わせて3名の参加となりました。参加は少なくなりましたが、ラインで欠席者の消息は明らかにになりましたので、一歩前進でした。

オープン行事のミニブリッジを楽しむ会の11月例会は25日に行われ、すばるから4名、さわやか、17から1名、Rei-1から1名、ひとみ会から1名、合わせて7名の参加でした。

(角地)

【つれづれ会】

の月から行事は自粛してきましたが、例会は行ってきました。例会といっても、安否確認や、近況報告や、悩みことの相談でした。

11月はいちご会の親睦旅行に参加しました。当初はひまわりから4名参加予定でしたが、「コロナが心配」ということで2名に減りました。

12月はRei-1と合同で食事会を開く予定でしたが、「コロナが心配」ということで中止。2021年の例会の予定は残念ながら未定です。

(大貫)

【ふたば会】

2月中旬の散策から中止していた活動を、例会(月1回)のみ、9月に再開し、半年遅れの総会を行いました。10月・11月は「集こもり生活」報告会を行い、「畑で野菜作り」「健康器具購入」「自転車の整備・改造」等、皆さん工夫した時間の過ごし方の話がありました。一番の楽しみの懇親会はありませんでしたが、出席率も上々でした。12月の例会では、残念ながら、今までと同じ自粛を暮らして延長することとなりました。

(鴻巣)

【会員のひろば】

《私の第2の人生は》

シニアセミナーから》

私は平成8年秋季に退職し、趣味の木工・土いじり・新聞のスクラップ作り等で遊んでいました。退職と同時に家での役割も増え、それなりに忙しく過ごしていました。会社勤めをしていた頃はスーツとしか目を通さなかった「ねりま区報」もキリ又キの対象となり、興味ある講座・講演会に出かけたりしていました。明けて平成9年1月、シニアセミナー開催の記事を見つけ、探していたのはこれだ！と小躍りしながら故山本会長宅へ申し込みの電話をしました。セミナーは平成9年2月15日（土）、22日（土）、3月1日（土）で「主旨」は退職前後の熟年者を対象として、地域社会での生き方・活動を考える…。最終日にはOBによる体験談。また、グループ作りの秘訣などの話が有りました。会は当初21名で発足。4番目に出来た会なの

で「よんぎ会」と称し（その後四季

会と改称）、今も続いております。私

は会の発足と同時に、ねりまシニア

クラブにも入会させて頂きました。

私も受けた地域デビューの感動を

一人でも多くの方に味わって頂きた

いと、シニアセミナー参加以来、20

年間にわたりセミナー開催の裏方を

勤めてまいりました。今やシニアネ

ットワークの会員数は270名を越

えており、私自身沢山の友人・知人

を得る事ができました。この遠大な

プランを作られた山本さんに改めて

感謝しております。

このコロナ禍で昨年2月から全ての

イベントは、家族・スタッフ・参

加者の皆さんの安全のため中止し、

戦々恐々の日々が続いています。自

粛はしても委縮はしないぞと、新

聞の「政治風刺漫画・川柳」などか

ら笑える種を見つけては、妻と大笑

いするよう心掛けています。

四季会 桑原 義和

【ツインテはないウォーキング】

2020年、12月2日その日最高気温10℃、肌寒くおまけに小雨模様。何故かその前日まで晴れの良い日が続いていたのに、恨めしい。

集合場所護国寺駅に集まった人数は4名。コロナ禍拡大で予定参加者は8名より半減。おまけに道案内役の会員が風邪の為、もしもの事あればという事で欠席。

今回の企画は、コロナ禍で2月以來、例会・ウォーキング開催が出来ずにいたので、本年最後の企画としてウォーキング+忘年会という設定で始めたものでした。ところが11月末よりコロナ感染が急拡大し、まず忘年会の会食は取り止めようという事となり、ウォーキングのみ実施する事にしましたが、その結果は冒頭に記述の通りです。

テーマは「文京区散策」。護国寺↓東京カテドラル聖マリア大聖堂↓

肥後細川庭園↓関口芭蕉庵↓椿山荘

庭園↓江戸川橋駅。距離にして約2

kmを巡る予定でしたが、何せ一日中

雨でしたので、護国寺・マリア大聖

堂・椿山荘の3か所のみ見学。見応

えがあったのは聖マリア大聖堂でし

た。明治32年創立のカトリック教会

ですが、東京大空襲で焼失し、故丹

下健三氏設計で再建された、近代的

で立派な建造物です。

最後に椿山荘で4名、ビールを飲

みながら談笑したのが、一番の楽し

いひと時でした。

みんなの会 桂 幸嗣



椿山荘のX'Mas ジオラマ飾り

《コロナの中で》

コロナの影響で遅れていたねりまシニアネットワーク（NSN）の総会がやっと10月に開かれ、そこで副会長に選任されました。ひまわりの大賞雅弘でございます。私の仕事は会長の補佐と、NSN存続検討委員会存続委員会の世話役と理解しております。

2020年度から各同期会の会員すべてがNSNの会員となりました。これによりNSNの活動をよく理解していただくと共に、NSNの益々の発展、さらに各同期会の問題点を抽出して改善するのが存続委員会の目的と理解しています。

現在はコロナの中で、NSNのことではないという状況でしょう。各同期会の活動も休止状態とか。

緊急事態宣言が出ていたころより数字的には悪化しているのはコロナ慣れなのか、経済優先にかじ取りさされているせいなのかよくわかりませ

んが、当分は耐え忍ぶしかないのでしょうか。

このような状況下で、11月に存続委員会が再開され、まずはプレインストーミングで、現状の把握をしました。

各同期会の会員はNSNの活動に否定的ではないが、自主的に行うのは一の足を踏むようです。そこで委員会ではNSNの活性化を目的としてパイロットプロジェクトを立ち上げてみようということになりました。コロナ終息後実施する予定です。そして、次々にプロジェクトが生まれることを期待しています。

NSNを活性化させたいと思う方は、是非この存続委員会に参加してください。ひまわり 大賞雅弘



《個々の仲間への声》

共助の関係への声

この度、事務局の一員に加わりました一笑会の久保田秀夫です。宜しくお願いします。

一笑会は、8年前にねりまシニアネットワークの「仲間作り」の呼びかけで誕生しました。偶然とは言え、素晴らしい仲間巡りに巡り会えた事に感謝しています。この8年間に会員の友人が数人加わり、新しい刺激を受けています。現在活動中の会員は約20名。それぞれ素晴らしい経験や個性を持ち主体的に参加し、月1回の例会・飲み会はとても楽しい憩いの場でした。しかし、4月の非常事態宣言以来、皆様と同様活動休止状態が続いています。人が集まり、話し、飲み、食へ、楽しみ、発散することという人間の基本的欲求を抑えることは、非常に苦しくストレスが溜まります。

この状況下で我々が抱える大きな

問題は、①コロナに負けず如何に会を持続させるか、②高齢化にどう対応していくかです。

①については、少人数で集まる、屋外で会う、電話、メール、リモート会議等々、不十分でも解決方法が考えられます。

②については、「仲間作りインSNS」（交流推進）を提唱したい。

NSNは練馬区で有数の人材集団なので、この特性を活かした助け合いが出来るのではないかと（自助から共助へ）。勿論リクエストがあればの話であるが。

AAについて話して欲しい、BBについて教えて欲しい、若い会員に最近のCCを教えて欲しいなどは交流のきっかけになる。

せっかく山本前会長と先輩が作ってくれたNSNを、今後も持続発展させるお手伝いを微力ながらさせていただきます。皆様のアドバイスをお待ちしております。一笑会 久保田秀夫

＜オープン参加行事＞

提案

【新役員の抱負】

いじわいの

サマーフェスティバルを考へる

平成24年、私が初めてサマーフェスティバルに参加した年です。その時の感想は、来年からはつまらないから参加をやめようというものでした。何故って？ 当時は、参加者は各同期会で混合するよう席の配置がされていたため、初めての参加者は知らない他人同士でしたから、会話も弾まず馴染めないものでした。

その後、席の配置は現在のように「同期会別」となっています。新規同期会一般会員が参加しやすくなりました。イベントの演目も、外部より招聘する型に代わっていました。

2019年、武藤NSN新会長が誕生いたしました。新会長のサマーフェスティバルの位置づけ方針は、従来のようにNSNが企画する会員のためのお楽しみイベントではなく、サマーフェスティバルをNSNの会員集合とするもので、従来の楽しみ企画と合わせて持つという方向となりました。早速2019年より検討が始まりましたが、例のコロナ禍のため会議が中止となってしまいました。それでは新しいサマーフェスティバルとはどんなものでしょうか？

- ① 会員集合会ですから、NSNの活動経過・活動計画の報告を会員に行い、NSNを知ってもらう。
- ② 従来やってきたイベントを見直す。

例えば福引やクイズなどを違った企画もとする。

③ サマーフェスティバル実行委員会には参加同期会から委員推薦者を必ず出してもらう、企画には多大の労力が必要なので、委員全員で少しずつ分担して役割を担ってもらう。

来年のフェスティバルは現在まだ実行できるかわかりませんが、次の企画までにはまだ時間がありますので、NSNの会員の方は委員会に要望等がありましたら、ぜひ事務局宛てに意見をお寄せください。NSN事務局

兼サマーフェスティバル事務局

桂 幸嗣

【オープン参加行事】

☆ミラリッスを楽しまい(四水会)

「コントラクトブリッジの前半(オークション)を省略・簡単にしたミラリッスの会(日時) 毎月第4水曜日 14:00~16:30 (場所) 男女共同参画センターえる 3階(会費) 無料 (申込) ひこみ会 角地 ☎390480005

3月開催予定だったスプリングコンサートは「コロナ禍のため、取り止めます。」

【編集後記】

「コロナ禍が容易に収まらない情勢が続くでしょう。この中で会がどうやって活動をしていくのか、不安になります。自分だけでなく、他の会にも仲間がいるという繋がり的手段となるように、会報/NSNも工夫していきたいと思えます。(〇)

《「コロナ禍後の活動」》

自粛の日々が続く中、そんな生活に慣れてきた一面もあるかと思われれます。私は、ネットワークの活動が許されたら、オープン企画として「チャリティーオークション」を立ち上げたいと思っています。これは、会員の方々が、思いの品を持ち寄り、最低落札額を設定し、会員相手にオークション(競り)を行い、落札額の例えば3割をチャリティー(寄付)に回すというものです。

品物は、持参出来るもので、なるべく「リサイクル」スレなもの(例えば、絵画、自作のもの、骨董品、珍品、各地の土産物等)が良いでしょう。寄付金は、若い世代に回るようにしたいと思います。

回会(オークション)、会長の武藤さん(〇)が1点につき、約5分で回したとして、約30点くらいを考えています。出展者の解説、参加者との質疑応答、オークションによる落札といった流れで進行します。

メリットとしては、会員間での信頼関係がある為、ニセモノ等のまがい物は出せない事。世代的に断捨離したい物を、必要とされる人に引き継げる事。会員間のコミュニケーションが広がる事。ゲーム性があつて楽しめる事等が上げられます。

私達シニア世代は、アナログとデジタルの狭間に置かれているように思いますが、大事なものは、動いて(会場に出向いて(会話する)ゲームに参加する)事だとおもいます。また、開催までは時間がありますので、「意見」「要望」をお寄せ下さい。よろしくお願ひします。

みわやか、17 橋本直樹